

サステナ経営検定3級第19回試験解答解説

[2024年10月20日実施] サステナ経営検定委員会

問題1 次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：エ

公式テキスト：Chapter 1.1 サステナ経営の目的と領域

問題2 次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 1.2 SDGs とサステナ経営

問題3 1995年に発生したロイヤル・ダッチ・シェル社の石油掘削施設の海洋投棄を巡る一連の事件から、企業が学び得た教訓として、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

シェルの事件は、環境対応や情報開示に関して、同社の市民・NGO・消費者を含むステークホルダーとの対話が不十分だったことを示すものであった。ア：シェルの事件は、コストバランスの問題ではなく、ステークホルダーからの支持や理解が得られていなければ、批判や不信につながる可能性がある、という教訓を与えてくれた。(15ページ) ウ：シェルは「海洋投棄の方が環境への影響が少ない」という政府の外部委託調査の結論に従ったのに、市民からの理解を得られず、不買運動が続発する事態となり、海洋投棄を断念することになった。(15ページ) エ：シェルは環境のことも考えた適切な判断をしたが、NGOをはじめとするステークホルダーとの対話を十分にしなかったので批判されることとなった。(15ページ)

公式テキスト：Chapter 1.3 世界のCSRをめぐる動き

問題4 「大企業と中小企業のCSR」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：エ

ア：CSRは、社会と企業のそれぞれが持つ特徴によって取り組み内容が異なるので、企業規模が違うほかの企業の取り組みをただまねても効果は出ない。(16ページ) イ：中小企業の方が、地域や得意先などを絞り込みやすいので、特定のターゲットに合わせた取り組みをしやすい。(16ページ) ウ：参加型の地域社会貢献は、大企業よりも中小企業の方が行いやすい。(17ページ)

公式テキスト：Chapter 1.4 大企業と中小企業のCSR

問題5 「コンプライアンスの本質」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

OECD 多国籍企業行動指針のような国際的なイニシアティブは、コンプライアンスの範疇に含まれる。(21ページ)

公式テキスト：Chapter 1.1 CSR の目的と領域

Chapter 1.5 コンプライアンスの本質

問題 6 CSR 担当部署でサステナビリティ報告書について議論をしている。最も不適切な発言をしている社員は誰か。

正答：イ

外部から企業を正しく評価するための報告書でもあるから、都合の悪い情報であっても開示すべきである。(22 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.6 サステナ報告書の役割と現状

問題 7 「ISO26000」は「社会的責任」について下記のように定義している。空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 1.7 ISO26000 とは何か

問題 8 下記の中で、故コフィー・アナン国連事務総長（当時）に最も関係の深いものを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 1.8 国連グローバル・コンパクト

問題 9 「ESG 投資／サステナブル投資」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

持続可能な保険原則 (PSI) や責任銀行原則 (PRB) が既に発足し、サステナブルな取り組みは、より幅広い金融領域に広がっている。(29 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.9 ESG 投資／サステナブル投資

問題 10 「地方自治体の SDGs 政策」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：イ

公式テキスト：Chapter 1.10 地方自治体の SDGs 政策

問題 11 「企業と社会の関係性」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

企業は、NGO/NPO をステークホルダーとして認識し、これらの組織と協働することも重要である。(35 ページ)

公式テキスト:Chapter 2.1 企業と社会の関係性

問題 12 企業の CSR 担当部署で議論をしている。ISO26000 や EU (欧州連合) の CSR の定義に照らして、最も不適切な発言をしている社員は誰か。

正答: エ

ISO26000 や、EU が 2011 年に再定義した CSR のような新しい社会的責任の中で特に重要なのは、企業が直接手を下さないサプライチェーンからバリューチェーンにまでその責任が及ぶという考え方である。よって、下請けのサプライヤーがどこの国であったとしても、その責任は食品会社にも及ぶ。(37 ページ)

公式テキスト: Chapter 2.2 社会における企業の役割

問題 13 「ステークホルダーとは何か」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答: イ

公式テキスト: Chapter 2.3 ステークホルダーとは何か

問題 14 「企業に求められる対話力」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答: ウ

文書化されていないことに対しても、積極的に、柔軟かつ的確な対応が必要である。(41 ページ)

公式テキスト: Chapter 2.4 企業に求められる対話力

問題 15 1982 年に国際消費者機構が定めた「消費者の 8 つの権利」に該当しないものを一つ選べ。

正答: イ

「連帯する権利」は「消費者の 8 つの権利」の中には存在しないが、「消費者の 5 つの責務」の一つとしては「連帯」がある。(42、43 ページ)

公式テキスト: Chapter 2.5 消費者重視経営とは何か

問題 16 「トリプルボトムライン (TBL) とは」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答: イ

文化的側面ではなく経済的側面が正しい。(46 ページ)

公式テキスト: Chapter 2.6 トリプルボトムラインとは

問題 17 「社会課題と SDGs」に関する次の記述のうち、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答；エ

1：株主以外にも、多様なステークホルダーとの対話も重要である。(49 ページ) 2：SDGs は、政府や国際機関だけでなく、企業も目標を達成する主体の1つと位置付けている。企業は、社会やステークホルダーから、SDGs が目指すような社会の持続可能な発展への貢献が期待され、自主的な取り組みが求められている。(12、13、35、48、49 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.2 SDGs とサステナ経営

Chapter 2.1 企業と社会の関係性

Chapter 2.7 社会課題とSDGs

問題 18 「企業の社会貢献と寄付」に関する次の記述のうち、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：イ

2：単発のボランティアだけでなく、組織基盤強化のためのNPOの組織運営や資金調達など、より深くコミットしたサポートが求められている。(53 ページ) 3：従業員への人的資本投資の一つであるとならえられつつある。(53 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.8 企業の社会貢献と寄付

問題 19 「ビジネスと人権」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：日本を含む30カ国が「国別行動計画」を策定している。(54 ページ) イ：「企業の人権尊重責任」も、具体的指針の骨格の中に含まれている。(54 ページ) エ：国家ではなく、企業に対して人権デュー・デリジェンスを行うよう要請している。(54 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.9 ビジネスと人権

問題 20 日本の「社会とつながる働き方」に関する以下の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

ア：2018年には約3割だった社員の副業を認める企業の割合は、2021年には約半数へと増えている。(58 ページ) ウ：原則月60時間ではなく45時間が正しい。(58 ページ) エ：コロナ禍以前は、多くの企業は在宅ワークなどの導入に消極的であった。(59 ページ)

公式テキスト：Chapter 3.1 社会とつながる働き方

問題 21 日本の「NGO/NPO とは」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：エ

公式テキスト：Chapter 3.2 NGO/NPO とは

問題 22 「企業と NPO の協働」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア

協働の内容によっては、本業への貢献や CSR 推進の柱になることもあり、従業員の能力開発にも役立つと考えられている。(65 ページ)

公式テキスト：Chapter 3.3 企業と NPO が協働する意義

問題 23 「ダイバーシティなど DEI」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア

2023 年に公表した報告書では、日本は 146 カ国 125 位と過去最低で、政治 (138 位) と経済 (123 位) の分野では、最低ランクの評価を受けている。(67 ページ)

公式テキスト：Chapter 3.4 ダイバーシティなど DEI

問題 24 日本の「ワーク・ライフ・バランス (WLB)」に関する次の文章の空欄に該当する語句・数字として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 3.5 ワーク・ライフ・バランス

問題 25 企業の CSR 担当部署で「プロボノ」について議論をしている。適切な発言をしている社員の組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ

社員 B：プロボノとは、従業員が培ったビジネスの経験やスキルを提供する活動のことである。社員の自主的なボランティア活動とは質が異なるため、十分という考え方が適切とはいえない。(70 ページ)

社員 D：プロボノは、CSR だけでなく人材育成などの面でも効果が期待できる。(71 ページ)

公式テキスト：COLUMN 5 「プロボノ」とは何か

問題 26 日本の「SDGs と消費行動」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

ア：平和で争いのない世界という意味まで含まれている。(72 ページ) ウ：消費者教育の推進は、企業ではなく行政の義務として定められている。(73 ページ) エ：新学習指導要領の導入は、持続可能な社会を構築する消費者の育成機会が広がることにつながる。学校教育で柔軟な若者に対して消費者教育を行うことは、次世代の消費行動に大きな影響を与えることとなるだろう。(73 ページ)

公式テキスト：Chapter 3.6 SDGs と消費行動

問題 27 「気候変動交渉の動き」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ア

イ：京都議定書で残された主な問題は、新興国・開発途上国が削減義務を持たず、主要国の中では米国のみ批准しなかったことであり、他の先進国はほぼ批准している。(76 ページ) ウ：緩和策の排出削減は、先進国においてもまだ重要である。(77 ページ) エ：GHG とは温室効果ガスのことなので、CO2 だけでなくメタンやフロンも含まれる。気候変動問題の緩和策は GHG の削減が中心なので、メタンやフロンも対象に入る。(76、77 ページ)

公式テキスト chapter 4.1 気候変動交渉の動き

問題 28 「生物多様性」に関する次の記述のうち、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ

1：「ネット・ポジティブ」とは生物多様性に与える正の影響を大きくすることを意味する。投資撤退は「ダイベストメント」というが、温室効果ガス (GHG) の排出量が多い化石燃料を使用する企業や自然に悪影響を与える事業を行う企業から、投資を引き上げる動きがある。(28、78、79 ページ) 4：何等かの貢献をすれば良い時代は終わり、生物多様性を回復させることを前提に、ビジネスのあり方を見直し、変革する時代が始まっている。(79 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.9 ESG 投資／サステナブル投資

Chapter 4.2 生物多様性

問題 29 「世界の貧困と児童労働」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：イ

公式テキスト：Chapter 4.3 世界の貧困と児童労働

問題30 「エシカルなビジネス」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

懸賞金付き商品ではなく、寄付つき商品である。(83ページ)

公式テキスト:Chapter 4.4 エシカルなビジネス

問題31 「フェアトレード」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 4.5 フェアトレード

問題 32 「オーガニック／有機農業」に関する次の記述のうち、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：エ

1：日本と欧米の説明が逆で、一般流通を中心に進んだのが欧米で、「提携」の仕組みで進んだのが日本である。(86 ページ) 3：遺伝子組み換え技術を利用しないことも、基本として、定義の中に含まれている。(86 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.6 オーガニック／有機農業

問題 33 「自然エネルギーと RE100」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

40%は超えておらず、20.3%（水力を除くと 12.8%）にとどまっている。(88 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.7 自然エネルギーと RE100

問題 34 日本の「障がい者雇用」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

ア：身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の3区分に分けられている。(90 ページ) ウ：対前年比 2.7%増加し、過去最高を更新した。(90 ページ) エ：工賃が高すぎるのではなく、低すぎるのが問題とされている。(91 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.8 障がい者雇用

問題 35 「ソーシャルビジネス」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ソーシャルファームではなく CSV（共有価値の創造）である。ソーシャルファームとは、ソーシャルビジネスのうちでも障がい者・就労困難者の雇用や社会福祉サービスに特化した事業体のことである。(92、93 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.9 ソーシャルビジネス

問題 36 「サーキュラーエコノミー」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 4.10 サーキュラーエコノミー

問題 37 「海洋プラスチックごみ問題」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：イ

公式テキスト：Chapter 4.11 海洋プラスチックごみ問題

問題 38 スーパーのサステナビリティ推進部の社員が「養鶏方法に関わるアニマルウェルフェア（動物福祉）」について議論をしている。SDGs の理念に照らして、適切な発言をしている社員の組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ

社員 B：ケージフリーへの切り替えを公表する企業は増えており、消費者の動物に対する意識も着実に変化しているため、単なるコスト増と捉えるべきではない。（99 ページ）社員 D：アニマルウェルフェアは、動物が精神的にも身体的にも健全であり、動物が置かれる環境と調和できている状態を指す。鶏は砂浴びをすることで自分の体についた汚れや外部寄生虫を落とし、精神的にも充足を得るが、ケージ飼育では砂浴びができない。よって、餌の内容の改善やケージの衛生環境の見直しだけではアニマルウェルフェアに対応しているとはいえない。（98、99 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.12 アニマルウェルフェア

問題 39 「LGBTQ」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

セクハラ指針にも、性的指向などは明記されている。（101 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.13 LGBTQ

問題 40 グリーンウォッシュの 6 つの分類に関する次の記述のうち、語句に対応する説明の文が正しい組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ

2. グリーンライティングと 4. グリーンリンシングについては、それぞれの語句に対する説明文の記述が交換されている。（102 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.14 グリーンウォッシュ